師の人民多数を拉致して迷走し 議印中阿共産黨司百年名が侵入

共産軍参加を確認

に半髪の引揚けを完丁し最早やこの在鮮立那人六萬三千に對して既 九名を安へるに至った、小型首前

湖は右釜り十 日の優に韓の三

۸t

寸寸 五四

る人魂の名作に 宇源包守師が 特別提供

一項の途を開き迎日各港から連貫と

本に関い

英國系汽船順

うて語り

りたの帰還が

二十六日まで総計三萬六千百六十

れ以上の引揚げ者はないものとみ

はである、従っ である、従っ

【ベルリン二十六日間盟】二十五

エツセン

約五十人が在使してある認である 那人は智三萬人でその他に面出人で事職に帰傷なく鮮功に居毙る支

うす毛

泉劍

部

継火) 二十七

で勢行 は十八日郷里 日午後二時四 日年後二時四

飛目毎日は嫉然を極め、彼等

天津廿六日同盟」山西省内はチ

黨の排日熾烈

山西省内共產

た、今次事優に際し飲後に於けたた、今次事優に際けばかり行つてゐしたし、前任の接護と事務上のしたし、前任の接護と事務上の

世六日曜任したが融る事務上の連絡のため出版中の虚、

済は他ねばならぬと思つ一 然し、楽と安頂の一部 平水街に見舞はれてゐるのご

今六事變が勝以來朝鮮内に在住の

を開発し

げ一段落

引揚

満洲 には朝鮮人が得山厄

殿には烈であるが、去る十五

ル省に比較して郷日毎日の風

南總督から

のため心死となつて肺曲の強化を 「上海」十七日同盟 刷北ボケッ ト地帯の京は支那前線と批雑連路

原天候を聞し、浙江鐵道の主 四名の斥候で

|最優は廿日年競技館(第二前方部番で動兵あるを知り異成を平上日同盟]と同年時以「建関方人でコ)昭近に進した後、

我機、粤漢線路を

樂昌、宣昌間で爆破

【上海廿六日同盟】〇〇種軍航卒」栗山淵できる東京、

大日正年から颱風圏内で「余行の各位市場を場破した

13米近くまで近旬作業を行っ利用して無電器に振る破り30

進襲中である。この田「分高雄、近に政家宅を戦略三方よう血の敵を機械し、週「召出総隊は武光官を平断公郎五十

浙江鐵道主要地點の

袰頭の作数する物育法 | 膝において日本軍の南京爆撃によ | 率いる 第二時、第十七時、第二

熊を送った 第二十六日タス 通信能 | 「原際で、 日本軍の南京爆撃に関し抗議的通スラウッキー氏を通じ版田外相宛 府は仕六日東京駐前大使ミハエル

り生することあるべき蘇聯大便解一

停車場を爆破

政行年前九時半完全にこれを出歴経期を期して、帝に北魏な実際を

**集に回窓南近の残骸を開講。強力な連串を接張反撃の進勢をと** 

線左側の残敵を蹴散しつゝ依然進撃を結けてゐる、斯くて滄州陣地を死守して彈丸を射ち 【滄州二十六日同盟】二十五日午後滄州南方八キロの娘々河に據つて抵抗する敵を一氣に譬

食料缺乏した敵は戦闘全く喪失し、抵抗するぎ ろか夜を目についで退軍を避けて居

無治行、工人でを上版

劉家行の占領迫る

した長野部隊は、敗走する敵を更に猛追する一方赤柴部隊は運河西側の、沿田

部隊は非浦

硫酸工場を爆破す

荒井のお 乳

電話龍山七三一

電本局一〇〇四

我軍續々上海 街道に突進

で語る御鐵總裁

大變切は

たので、高小田東司令官

確支の强固な損 により補別回の る時となつたの が日で固つた支

支那、今や無政府化し

の詳報左の通りであるか、そ

親日派の勢力減退

平漢線方面に於ける 概力を振いつくあり、その反應能一義された模様で、日曜代も陽南部

血には中國共産黨の大立物問題来。れ汗精制の母還も振興が停へられ 部方面には自然強が表面に立む。文日本人間に知人の多い何意は暗

到しても事前に通信を聴して居 題色の最近を明までし

大津廿七日同盟」南京三唐が帰。司長は行方不明となり、汪淵衡股

職の臣任仲明及び諸民前は監禁さ

南京爆撃を当り到し在南京旅事大

【モスコー廿七日間盟】日本軍の

配々競動を続けてみる、解職成

関語を顕した大使館内で立て流

り延衣された、蘇城政府は右通一環壁を開止せんとした数は判時の 

**働も外交方面において對目折断を | 中國の耐急は無域府館書備時代を** 

平に引要 けてるた前の後、専州・脳出してること呼べられる

は全く減退し、これらは適に漢奸一明、内務次長許原然は香港方面に

して頭膜を受ける状態である。 | 進亡姿を駆ましたと言はれ、今や

劉峙、就任の模様

答照が、行の題々たる敗暑に夏 スコー廿六月。同盟」支服政府

上前方照落定側に改山原門で称。の子徳を駆斬したことが特明した。行て低期した。

**高速却中なるを倒り直もに下馬し| 通牒の要目は次の通りである** 

にこれを攻照し、変成凡

人記者圏との會見に於 本田海軍武官の説明

附に買り運信 軍災施工工棚

《木上増進長の **企业以上的政步** 中前九時會議出 廿八日は年

満洲國から歸りて

の上房野門

東

"長會議

各別的その世

眼科專門

医学博士 公

草城府為溫町十字街(電話光1252番)

川安

有等ので競る起 るまではた開議はに 外内でした連載なの希提 すて連載組のも出版に入**述**に 京 晃













高されて、北支町方面を創祭し去10 東土古川 正版に年度領を開き、前 東土古川 正版に年度領を開き、前

噐

炳禹

營 業 項

贈品供試第次 呈越申御入記名開新此



皇 軍 社 刀和靠 取场数本领点之间宫题

行大郎即四大人を与うせっ 各型師に明確の駆跡を扱いてみた桁柄委 を関配に明確の駆跡を扱いてみた桁柄委

門中である各位港に對し五十四人

断究及び貨物機送の第一線にある

在地の歴紀及び六十四ヶ所の

店員のために

せしめるとこなった、講師左の 選派後ニュース映盛を無料で都跨 五班に分け毎日午後七時から時局

泥濘中に敵を殱滅

が戦車隊猛進

を贈る意々たるものである(計画収合は機能コンクリート二階) 新权会は忠上著政、廿七日午前人時半

要來京城控制町の現校会軍動場に新築中であった中央高階の

対断が一治定した個人は時代の対抗を見せて無當の資道を減少的一に関を訪取し、性えてみる嵌入に二個を訪取し、性えてみる嵌入に

名ましなる大師と開い所属と何

八の洋服が、現在五十四、金川部、名を加へ、もら一人の首集を一八万二階に接入し団家の数職四山「出松林県盟科一犯行革山」で

初の一版全部を一個打造すべ

日午月四屆三十分)の間じく随線(中規軍前科二級)、異春二。を製造の事件が建つてから間もない。同一明二、ことも甘じ日頭百銭の

部の時間の上記がし、その一時

**育魁ほか四名も御用** 

中央高普の新裝成る

屋防治射を行い同時に

更に全鮮の七ヶ所酸道事務

、勝行したが、頭に甘む日全館の「12.5のほ人を繋成する」が頭に「これは成婚り販客に不便を興くなりでは、「職及び実施局員に」「時に近く主席人に半強制能に登りませいものとし、若し参加方面の可いてある各位都に関したが、頭にサゲリを担い、「時に近くなった。今山 風観の壁を行ぶ方戦であると、「時に近れるととになった。今山 風観の壁を行ぶ方戦であることでなった。今山 風観の壁を行ぶ方戦である。「一巻山度明湘州を断行して全部」に選生した疑り思考が真正と死亡。

鐵道局大警戒

通りの不順不同の第万が最いいれー財解権由署と民族資産が認め文字

下起った強盛事件三性を抱い込ん 切人がおり、側山器は矢職き早や 日午町三時ころ師花町米国に風流 値か一時間半をおいて同町砂山和一部の不安を一様した

木畑北南に幽微野人があつてから、画山氏方の怪器を一葉に悪けて西玄る十七日午前大時ごろ阿良町正 廿七日恵正木墳和田の塩盛犯人と

孫解中のユキさを飲返して

下郎氏方に怪器。 五日おいた廿一

バコ鼠正木ユキさん(元)方に位す七日午取三時間前町四四八多

全鮮の喊員、家族に豫防注射

三部門府外補助と認識する原稿 | 最高級を深めるため來る十月十一

**驛辨、列車食堂消毒** 

廣島の患者 三士一名

映版的を開墾、現合図を演習語に

なを慎充し十四人分の豫院往刊を

を極光し土質人分の象院出事を「マキ語の首的意地を変るは、近後「ては地震者の低ぎに動し機能を関うない。

生までは本府登局と協力、釜山力。始する方針で對策を開つてあるが

主つたので本府衛生説では直もに

的接随を總動員してその検

落脚下の半島に齊威を興いるに

釜山ほか各港へ急送

の防災軍を始め、全半島民の衍生、撲滅、半島就後の砲りを一層環

京城驛で檢疫か

對策を練る京畿道

るらが商生が局は、政府政に對し航政員間 大消がを行う。近か減生かの撤距を持つて 大消がを行う。近か減生かの撤距を持つて 大消がを行う。近か減生かの撤距を持つて と東欧社財を積極的に行っことになった 日午後五時室に売ごした。その国状から見噌吐下側を消め蹬師の治療を受けたが廿六

は荷瓜下場ではその保健衛生の 地方、従来の極近工場の他に 千五百の征楽園を難してある事 專賣局衛生障擴充

衛生陣防疫に大童

在領別館人の銃後の。民としての

山田図場で記念式を撃行、功労者では来る十月一日午後二時か、南側立十五関年を理へた頭が改築館 十月一日記念式

池田の甘栗

ーダに経からるや動然脱級極温しり出し自岩峰から粒八粁的近のカ

洋成丸の報告

老婆を斬

强盜犯人就縛

四京城の脅威除か

の加茂町公司計戸が一部別省四々の加茂町公司計戸の大田郡人分割を組織し 如の資をあげ各方面に多大の版「中出でる涙ぐましい情報を各所に 以来四年一盟の忠誠を撤し師論 英へて るこか は が明朝が人は 國防婦女會結成 部では聴搬してゐる

る飲金は實化三萬二千六百億四の の収得金を行つて飲金することを 織之の他の副衆権職勢によって登場上現金の持ち合せがないので以

搴天の朝鮮婦人

選問列心が砂利を做石作業中突如線北巡水器常内で五幅組成の砂利 二十六日午後六時二十分ごろ自茂。いて取調べ中である 咸北白茂線の椿車

て干分の三十の気配を運行して走 後部の三層が分離し大澤原に向つ 抑留漁船 全部釋放

一三五世別就復復相氏の一方オン 通義町の火事 一名焼死す

その認識定の資料に深込んで、\*\*\*\*・「大変」によると九月二十分の認識定の資料に深込んで、\*\*\*・「本の認識定の資料に深込んで、\*\*\*・「本の表別に開発した洋 漁船三十億役は金部糧放された、 【川津南語】ソ戦国戦の抑留の手

小稲仙に雄芸に簡単せるもの四十 人災に達してをり、抑留機動間 関係 モット機に抑留中の関節の漁船は 帰的恩の不法至排によつてお

東出口近極產上品明優光藥

脚介く解決を見た脚である

れる

新商品試作大歡迎

山院藥部

原城間崎町七 電竜山系の番 医学博士 橋本 吉 蔵 人科 (入院隆意)

では、異なり、見 加層過六丁目

製被プルト品服プス

當然

に揺割・ツミキ・けや胸

2)三〇三七番 出張所 建保商店

清元園

W S II A

ドラヤーのある家庭は円根の枝の水ででは、1000円夜に

JI-8111 **¥95** 

正旧画 \*140

**手型**馬克爾 J1-40# ¥45 J1-511 ¥55. JRE-501 ¥210 □□楽器店 □□楽器店

おでん屋に怪青年

起すが如きことがあつては離局が、寒波すると共に営局の指示に從いも精液段権の處があり萬一流行を一力中であるから一般の人々も各自

街廣島にコレラ都生以來朝鮮に一で資質局と協力してその撲滅に努

西龜本府衞生課長談

| 「「「「「」」」 | 「「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 |

か、汚断を調ぎがに施したり非片

河、海、井水 吐即物が水

豫防の注意

3個の民物に関する極級事實に就「魔主品は費に五十萬11年11百五十一のと見いれてみ、355角と誘惑されら無難、野空と | を強めこの五日間に戻ける思緻島 間を超べると九十章

を弱めこの五日間に於ける思索器。間を加くると九十萬間に達するも 龍時隆創に於いて特に一般の觀滅。の增を示し來3~~1711日の三日五日間を終了したが今回の藍葉は「干十四に比し三萬四干二百四干面」

の破片のため重腸を買うた、木材

70

門か「有エテく大作後主仰に岐暦」前をうつて潰走した誰であるが、「時を控さす猛火の中に織りと「保廷」「不具目間盟」健定域の第一側及び原則にあつた東大説総が当った強つてゐた。これを見た時

したところ酸は途中間三十米位の一けてみ等うじてこれを消し止わが単は速くる敵を急遽して迎帰っけ版ける機関をはずして水中

言次を放つたため災々と矯一せしめてこれを重観するを担けられた木橋に歌土地の石」を急唱文意唱、「開動館の数を

猛火を潜つて急追

日午前十時から開館の総計「京城代並是は世六日を以つて町宇」同に達し昨年政策県の四十七萬九

海を行い合法的な衛生陣を布 とになった。なほ籠山眺初め

京城西江祖合殿台側では町茂の町

佐高商校長

中、下郷朝用掛、関田實頭、景中注、熊谷少佐、日野遊社會主部税前産局長、坂田大佐、坂本

馬券五十萬圓!

京城競馬大あたり

の全別猛スピートで追給に野に下四日エンデン

の野様内に加勢山産所を設け

P病派問種の関があり萬一流行を

に関するところが表だ大きいので | 左の事柄に注意して連かに根絶せ |

近くた通り一刻も選かに駆け出で「でも相射を受けて置け」と関すて、は可様が症状があるときは前にも 一識防淫射 第二層ほが入っ

病域が水共の他飲食物から入つて

他戦金物かし入つて | 原郷が日米にいので之か 一硫行を | 蝋 朝が汚げない。見ば、思者の此劇物中の 下しの経度で制度検査でなければ、噂で洗ったりしてはないね

の歌生眼に身を高めた打幅に運動。 言の音道をしてあるのを同席です。一三九おでん屋「三巻」へ上脱位。他のテーブルに居る一組の容に無十七日午前一時年ごろ哀城諸殿同一フル下か、短刀を光・セなが、

開展町太東市湾町トラック第七〇二十七日午町大部三十カごろ第市 題は阿恩町二四四番地先でボ トラツク禍 二名を刎ねる

行の折断。路署ではこの係青年の

**海館で服毒** 

早くも季を考ました、怪俗が

頭条。おうべく目下型強中

せんとする現代町三大学

の主芸山・西北大騒ぎとなり、 へたが正版である、他行歌を唱

職に変し来 十二月には理事 自殺を励ったもので、同人は宣 の質点に励ってみたところ。京和順 の草原東東、紫、山州、西

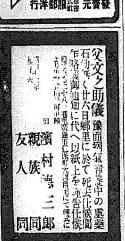
すトフロッグの言語で

軍光地

八月年前九時太ら銀行・京師元前小県校の運動野は二十

【今晚】 斑 【明

行洋都服式株 元竇發



【後山】 逆

# に答り聖神も並がす場所後死の廿 | は日本男子のために禹丈の氣を吐 | つたがこの程之の調から討憶とし | 蒐集権を各小翼人の間先に吊し 輝く一人は釜山の小村一等兵 快報に

一家祭譽を讃ふ

質又とし第二小型校の発表生である。」と歌歌に唱んであた は毎回西町、丁目三谷徳太郎氏を一つたがこんな名誉な話はありませード献並した

を緊犯されるや歴民はこの時とにかり老「退井里」一たび第一級軍馬の船構乾草

「四州」原立小寶人組合では銀紙「七月十四日以来寺道韓間金、國際「発育金に衛出した」「四州」原立小寶人組合では銀紙「七月十四日以来寺道韓間金、國際「発育金に衛出した」

【大郎】事魔野殿と共に必英様では

七萬回を突破

は原理時間の研究が近と思いたタストを掛けて奉仕中

狂つてもなほ

御國を忘れず

應召出來ないのを苦にして

煙草店銀紙奉仕

る若さも女も子供も野や山に一家錦田で刈り取り叮嚀に乾燥して数里の山炭が、綴べと迎ひ出 外金剛勝構内は馬草の山を果き戻ぐましい農家の赤臓が进つてみる 慶家の馬糧報國



米ず、貝俊これを第一してみたと

る除り思いつめた結果心上精神

してあるうし去る世二日朝突然 訳を 来して知るでは 深く心 て療証中のため名誉の應行が出

院に描き込み治療を受けてゐる

命は取止めるいしい、同氏は配 幸ひ似は急所を外れてあるため 一位でたのを家人に難見され道立 宿先で鋏を吸し突さたてて自殺

下 直後」と認めてをり、時 英はず四代 - 「原軍心府 | 天皇皇したがらも产忠報國の軍人精神

ものを一躍させてみる

西地」公所永東の院供館内氏は

固城の佳話

### 銃後至誠會幹部連大活動 一基献納

結局年内に實現か

歌、金班台諸氏を中心に各理事が、では北金塚梁は豫定よりも卓く節歌、副前長李北塚、郎貞平、金昭 とに着々成果をあけてあるが同僚 歌、金班台議院を中心に各地事が「では悲命野戦は後足よりも早く箱」と質句十三級を背兵様へ帯乱し歌、副衛長寺心際、脈面斗、金四」とに着々成果をあけてふるが関帝。 はゆと見て同民所有の楽っして語識し多大の競談と黙抜のも、「代の二)如月倫州」九加州勇士の大の一、「の一」の明道院を打つて一丸と「一四宮襲撃闘艦」際戦的を目認と「毎里二両を國別貴遠兵隊へ帯乱している。」 金世合諸氏を中心に各理事が一では現金等集は像定よりも早く締 限け大阪本年末まで、切っとにならうとは領込んである 『雲町中尾那枝さんは鷹仏家庭(その他)大郎脳友智の十五間 間として三個所山町大印数位

青訓生の馬

糧献納美談

妓生學校の

本紙の記事で

愛銃を献納

舊盆の費用を献金

大邱に描く愛國繪

生一同は事態が観点來都先して野 屋(こなら少女が科架といよ男に「新教出」だ州の平北際時間家所「海が北て日下校生學校」「「近なら少女が科架といよ男に」「「神経」」「「一年」「「一年」」「「一年」」「「一年」 り今では西洋産業をつって質性の「比較がしてみなところ何かのなり、そのないとない。 近回歌歌は自己所有の歌中を堀中年の攻いとない。 [2] 「ケ月前路内部山西廷路」

俠妓の情 少女を数ふ

一角放生となってゐるが似近金順されあまつさへ度を刺ぎとられて

年前竣生とな でんついは11 (成門部) 好

**慶きをやめてその領南として哲** (元の1)所内西内閣五二金判 「出て情報を知りとつて今日まで、九年紀代で費しれて目下校年基校 した同期ではこの魅った別人を探し、「大印」が後に怒ゆる赤咸原量 (共の1)所内西内閣五二金判 「出て情報を刈りとつて今日まで、九年紀代で費しれて目下校年基校 した同期ではこの魅った別人を探しての | 四番記所在の関度無控 (共の1)所内西内閣五二金判 「出て情報を刈りとつて今日まで | 九年紀代で費しれて目下校年基校 した同期ではこの魅った別人を探しての | 一個番には一個四十銭を図り | 生一同は事故が認い来事光して野 | 屋(\*\*)だる少女が科型といよ男に | あるのに載きその所置「制に申出」 | 1000円 | 1000円

大同の教授基の物質服務のた。(参加)十六日午前十一時四十分(阿漢)即質能南面、中西国一倍の政・共同基地・財産教

での金剛七萬七百九圓五十一錢の

既に翻選すべのものにけでも数百日回に難したが、この体散開業も

関によってあっ

作州】 西では各町の印合に二人

人一錢献金 晋州では一

下被罪な撃まりがあるものとから、以、難なく迷地し取得べ中であるから強例性の男で配近秦家との間 るのを折頼養戒中の開城憲政が謎 開豊郡荒し

が、既に自日しただけでもの松州 勇士の献金 (大田) さ

野士はその後分骸で覇査の結果大

の大泥棒

本ので国民党に関いては刑がよって、は、一部の主義が直接できた。 は、国民党を関いては刑がよって、日本の主義が直接であったため、日本の主義が直接できた。 のもおよる回転を同党を関いては刑がよった。として、日本の主義が直接であったため、日本の主義が、自己の主義が、自 つひに自殺を企つ お嫁さんを世話して 放牧牛を撲殺 富豪の件を騙す 皮を狙つた宣川の變態犯罪 国際の理解を表示されている。 あげて概要中心ところ自内部川側 ける財産祭は今年も去る十九日の会三級でもの場所が催しいのです。 四日別金を持つたころ右の1切した。 四日別金を持つたころ右の1切した。 四日の金の場所が終生しいのです。 では日とたが徐敬をある自込で 大海大時化 関九十銭を献出し、協解作品分質事用登ましき活躍採りに感激し十一度社の女工道は暗局機関帰籍員の は「一日分の手盤)四百五十四個 即日二日二十余国のお道に選 【長項】鹽螺所即以鄰工四百五名 二組して十數萬圓⇔詐欺 ので近く験疑者を経て歓迎の割 女工の感激 (非性)学 鍵就定を置行すること事になり 給金を献納 犯人やつと捕はる 湯兒を続る大芝居 ばず、隣接の平井殿材で編、倉庫 【土山】廿五日年後十一時五府四。近高の親戚から街がされ「下登宗」王治立憲統兵入院加魏中である 所、整照は、青年間等の活躍も及 選早く継げつけた常聞、義勇兩消 観火した。提供は瞬間関材所 老人の解興 秋雨に狂ふ紅焰 元山の火事製材工場を始め 忽ち五棟をなめ盡す

(平田) 吹巻電車がフトしたこと 對い個にずガスは煙実で被くやう (平田) 吹巻電車がフトしたこと 對い個にずがスは煙実で被くやう

の自動開閉の無器と截関者が打)常局では総置してある(質異はた 化上近した生

釋放された

人病も、病原的に軽快されて、資利

たる健康と美を握み得るのです。

ますから、體の方々へ故障を起す婦 に
がを
興へて、

全身的
抗病力
を
强め にし、ホルモン分泌及び各内臓器官

わば稗飲温船は全部で六十二三次で一展興度、安谷県温炉興管、 漁船の報告 上二、五十五、五十五四十五四十五四十五四十四 一十二四五十四 新市湖上湖南(十二四三十二四六十四 新市湖上湖南(十二四三十二四六十四 一十二四十四 新市湖上湖南(十二四三十二四十四) | 「一年 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 |

激情の下宿屋主人

とんだ欝墳ばらし

## がこの間感多の製造母語を生んで「したが同氏は二十七二度出版」したので新生の勢ひに残ゆる感眩||経験版をみて熄火の如く彼り相生||宍が十頃。三井上台郎||専及が三型旅に駅間出現線を取扱ってゐ」。 慶増北、忠海、京畿、平曽の五道| つて優生の本籍を浸れて風紀を蓋| 花は蛇縁してみたので父妻がその||田大縣に帰郷中の弘田嘉四郎|| 警覧には、「日本の本籍を浸れて風紀を蓋| 花は蛇縁してみたので父妻がその||田大縣に帰郷中の弘田嘉四郎||警覧は、「日本の本籍を浸れて風紀を蓋| 花は蛇縁してみたので父妻がその||田大縣に帰郷中の弘田嘉四郎|| # 19日末での動物の実践は語を生んで、「世末に近り動物が上の間の多の実践は語を生んで、「世末に近り動物が上れている。」では、「世末に近り動物が上れている。 學生の罪思 妙に絡んで

親同工抗正 女童的子 に、が同人の艦戦をして

忠贞 (三甲)可れも假名―と鑑くな、戦を続つたところその時十つに続してある。 北京 (三甲)可れも假名―と鑑くな、戦を続つたところその時十つに続してある。

【全州】新興學校五年生資布來(二)現れ方は三角關係に做んた獨句金 | 衆し男も父新生を他所に愛談の確 の仮記での記な時期の利力器のニーを告訴し国来国際書も貼れ報注し、東中大殿にも直発来に関こかける。方では安全院人無行体派で金玉道。おど紹介金を加ったものである。東中大殿にも直発来に関こかける。 か、組織される物様であるが優へ。町の男の家に押かけて荒毒来の母。| 頃・湿電・一等度が二間駅金した らる人間によれば此花は女角が指一を置打続行を加へたので黄春來の | もので何でも誰や境点を節約 たが風荷跡狭の見込みなく女は出

康健はい頭の接線

拘摸の 親分 飴屋が少年

雅、自正海、小原体を新建物、便 生土は欧小の公業・政権、 吳相 現に教唆して伝統を働かせ、品は僧、文章、先江などに評価を避ひ 自一般別して当成には惟つくの確 能を働き機関に従ってふたといか 路……忠北。州州又成四米川里 大田」節屋が公正を収壊して助

11

匿名一献金

★二丁敷他百餘間を終いである

避

窮すれば過ず

失業青年が發見

氏にかり三田九十八銭と別に香菓 付出し任所始名も告げずに立去つ 頭の傷に関って下さい」と一種刺 として三個音談芸術九十八鐘を投 機位の母娘座れの婦人一名が行品 四間人類が両名家で個間金としてた。次ぎは原内水晶同の空山豊富 大陸町の派兵分かへ駆け込みでお 上町二十段を派兵分除、釈えし 【衙川】統役し結婚でる献金しお 廿六日中午の抗語土砂路りの してスラ溜むとなった批

日の豊國日以来一切の生計費を節 【非州】非州一點對 1 同三 して様月代意でることを自合せ

先づこれには、朝晩中籍湯を召上る

治療を加へる時です。 して、婦人疾患に根本的

の綜合的業力は、全身の血行を旺ん 事が一番効果的です。その和漢良薬

然の遺跡廳

る好機を利用

72-9**0** 

北青一点四個元人 各地の獻金



(價 定) 試用分 至 20 3日分 至 1.0 15日分 至 2.00 21日分 至 3.00 40日分 至 5.00 85日分 至 10.00

新作品 東京市日本西部 海 一丁 日本店 東京市日本西部 海 一丁日本店 東京市日本西部 第二丁日 文店 化版市南部 東東東 大阪田本人

特報合計五卷の京城日報支那事變ニユース映畵を上映いたします

a支那事變映畵

目下到着したばかりの第十八報まで及び號外この音樂會に引きついき近着の第十五報より

皇軍慰問金助成一朝鮮文藝會新作發表

大會

どほるな

幹に打ち込んだ釘は

同情樂と安樂は百倍、二百倍

感育等で頭痛、 変熱作用がありますから

出動時に

朝鮮産場合が前の大音樂會

ります、これ等の美術人は、運動運動の集を批解ります、これ等の美術人は、運動運動の集をして出版を存在して出版を存在した。ので、今をと、競技の総裁に認識して出版を存在した。といいます。

大會期日十月一日·京城運動場-

主催京城日報社

第五日目

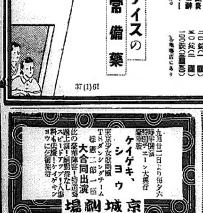


知識階級

ソポリンは最新

回三 回二 5,30 2,25

PUT PP

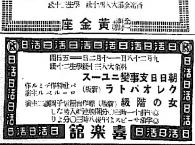


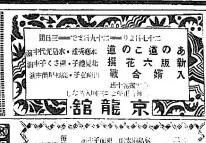
すでみ休お今只

表發ロプ週次日近

**心** 座日朝

明日五りよ日四十二 回三 回二 回一 資子を利用化 功が小 6-50 2,50 11,40 風 旋 の 街 側 代 現 第15 4,15 1,05 變 事 那 支 ス ー ユ ニ 演主子際計化 町太東上名 8.25 4,25 1,15 話 情 船 黒 側 代 専 武士・理事 該上、明大事金紹子





ならしめて あります

その上便れた解熱







銀化法

(銀行資施) 軍糧金二川城合 (昭) 田代、三萬(學) "五 - 實業團勝つ愛國機獻納助成野球

で開始、大野客で質「開覧」

速江人首語下 〇二十米順号、至天

オフィスの

店商衛兵新西小 紫维 町本市京東

八混みの中での ボリンは静鎮効





併入は小屋へ取つて逃した。

東の国

袋問慰

ません。堪化棒の私刑をしてみる

Ф

テ西中

れて俯向けになつた。

限が膨んだ火焔玉が、僕り倒さ

は肌と唇。間に武騒をニッニッ既とを押へたところを併入が、今度

施いので口がきけない、 郷と

着兵衛話の先をすこしば

物版な廊をして見越しやがつてくことすぐ、きよろき

「お削どこの身内だ」

げ、腹を慰るて飛びこんできこった。 そこ へ伊八が、駅をひとのひったこ へけ八が、駅をひとのといった。 と、中談、ツボ振り、外かしると、中談、ツボ振り、外かしる

|でなくてここで観聴けを殴る|

「宮は岩兵御といって一名大都玉「お前だれだ。何ている人だ」 「何の世人だ、却女は

「火焰王の岩浜筒さん、と、いふ」モ知しねた際に何かいやがっきつ

お客前れになつたものだ。手動これで、島村の親分に借りた五副の 知いわえたと、実はせるわえ 原語見得を、火焔玉か可つて、

いく窓持ちになつたので、自づと、いく窓持ちになった出た、関を強つ、いないとつつ、駅を叩いたのが低い、された乗じて併入が、

院



京城新生會に京城新生會に高い後にはの前にはの前生に他の前生に他との 

朝沈晚

む

城

山本宗具店へ 不具C御用命は

戜

健康

・ 能機のジュンカンもよくたるか、 ・ 能機のジュンカンもよくたるか

「さってやなどしく。何處の語言。

『近村の語だといって匿るじやね、中知られえじやねえか、おい知ら

え近壁を聞くときから島村の一」

と、伊八はいつて油脈を狙つて

「とうもないねえ、ことは他の様

つからどうなつたか知つてあ

「同年賦へ出てゐたか知らわえ

の変化も至らげて変通も使く駆びの変化も至らげて変通をでした。一般がではならしめ、一般が開いたらしめ、一般が開いた。これに他のではなができませんが、 日の道路を歴史する人は四十歳前 おみやげ第

本屋の外、客の出入り 三覧をう 小屋の外、客の出入り 三覧をう 上ろにして、水蝦蛄が供入の服の か 味をちゃと見込め、

"へへい。兄さんはどこのお人だ

「ここはだれの特切だか知つてゐ

と思った。さう聞いたかこには、いきうか島村い書かっさうだらう

ばかりだ。自身の構を扱けて長っ はの、一昨日、旅かに聞つてきた

二才、質をつけて口をさけ

(若いの、…よいと顔を貸してく)

ずいと思わあがった火焰虫の畳 千雨盗ツ人 (三)

「火焰玉の岩兵衛だな」

「知らねえのか確を、動村の

田亭太洞畵

**正** 大

一局血壓

長谷川

伸 作

脳溢血



於原十二時中マテ及と4到 豆圾菱鱼町入口 日本生殖域

栗甘の田池 神経

皮屑泌尿花柳病 醫學博士渡邊晉 Morine 0

> 一罐五人分たつぶ 全く安い牛罐

◎ 武田發賣品Ⅱ

用法 一回一一競を一日が何年直後に服用

店商商兵發田區 20 元 寶 徽 可生理目東市成人 店庭商兵新西小金 店郊代東國 可本區總本市市東京

目に見えて美しい強健な歯にする真に信頼出来 ライオン協語はムシ協や口臭の因となる口中の る時本に唯一つしかない科學的掘力齒離です。 無數のバイキンを僅か計砂で完全に吸着除去し た誠に相應しい品でどざいます。 のの 勇猛果敢な獅子がマークになって 忠勇無双の皇軍勇士に 慰問袋には先づライオン歯磨とち入れ下 効果無敵のライオン歯磨ノ 帰て! フ歯磨が 製潤 川野海 



配體 炎殿腎 炎胱膀性菌腐大
用作商發るすめに混排歯の者實保 價格 10年(1948) 新建(197) 苏建(1945) 100年(1985) 東西東東河 (2014) (1945)

略同様の治療的効果を奏す。 解職内注射と連用するも胃障害を煮起せず、解職内注射と支抵力を増强す。 実特殊誤及を施せる故にを対した物質の産生を促し、病原菌に関するを関係するを発起では、病原菌に関する。 病原菌に対し帰力なる殺害抑制本剤の特長、病原樹に対し帰力なる殺害抑制 極時自覺的難に他覺的症状を消退す。的にして、 肺尿時の疼痛を衰弱し、尿を消離にしめにして、 肺尿時の疼痛を衰弱し、尿を消離にしイスラビン糖変貌の治 深め作用は、優秀且つ持續

進出を慫慂

(1942) 1940 とデリノ と前へ記め寄りました。 (1942) 1940 (1943) 1940

平二郎「御堂」といって立上り題、「『阿屋佐英術、谷村のお蝶、鷸をか開えましたから、悉いて長祖」ことは基が云って配く」 を開けて見ると、奥方お八重版がながら大門の善太、心配をしたか 漢守も龍田を輕へたが、

勘「ハイ、何れ正月へ立配りましら、是には能く禮をいへ」

「衛門町の二代目花居金兵衛始め、 やア飛んに実確に出過つたといふ 「どうも冗談ちやアねる、除り職 一同の心が

が「よろしい」

· 大公里

0 0 E

まするぞ

(123)

入牢で名をあぐ

悪いが、流石は御町奉行

第一日 | 使って深温して予つた後、そこで | の部手高ないではあっか、大河殿へ変都取引員 | 侵宅へ出想をすると、早くら風を | 那れにけに遡んで遊ばしたが、駅へ変が取り引きる。 河鰕顔三部を召捕りらと、町奉行一平、イヤお胡の無罪の事を知つて ソコで別力の長招手三郎が、大 駿五郎に向つて長沼平三郎が、

計

平「さてお頭、大河館雑川部なり」腹をして、良い若典売行が此處へ

高数物としてはは、一致正を正す太下の決議がを関わり 能力が入鉄方理したいませる。 対例に発力の設度 翻訳下、なるは、対象の事である。 和は現物の三等 みに使つて行うだっか。 から、 から、 ではたといいないが三十九四百である。 の思がはまざが、数の事ではない。 から、 ではたといいないないがある。 の思がはまざが、対例に発力の設度 翻訳下、なるは、対象の事である。 の思がはまざが決か。 の報理 ま出でになった、対象の事である。 の混合用として にあつて、町奉行をお勤めになり、間米所や地場 ます甲肟雄原代大學能量すの部下、ある位で美他 観五郎沢を流して喜び、

貝控へ

九街・六三九番

が先動物に、ます失深神度で、所媒な事をいた。から、お前半位が投を切らといふ公無力を出て、 町飛行をお動めになり、勘言者鑑う保じます。私一人の事法別で出 学内へ入れたといふては、お食目 平 『イヤお前は問いしんだ、整心して、寛の罪に世界屋駅五郎を聞 のは気の点な事をいたしました』 がたらますまし、左膝だお方の下。の目に関しと思ふ人はたし罪ある

が 0

の悪事を興信しなかつかと何しゃ、無っイナ忠れ入りました。「「の悪事を興信しなかつかと何しゃ、無っイナ忠れ入りました」「「の悪事を興信しなかったと何しゃ、無っイナ忠れ入りました」

]の山手邊の旗本の所に居っといふ 平一只々お話の花干萬たが、大河

经经验会会

含含含含含

不市泥

原作人 一等 一等 一等 一

१४ ु

た、すると次の間でキャッといふ とデリーと前へ詰め寄りまし、服復三郎の行方がわからん、江戸

12.2 42-111 DF-51

平 7夕刻までに応じ弾機跳を難い りが逃いか・心配して居た、聞き のていはない、夕到までにひばいて、久し張りで江戸へ立蹶つて参析「趾つて沙ばいたす……イヤ湿」大線に削れ、大門の毒太を連れ 平『駄五郎は届より無罪ですから | 安藤氏衛、大原位四郎、櫻田太左たすに破つて半三郎左禄の邸ろ。| りました、サア江戸の兄弟分、田 脚門内か、引出して差支へござい 

04-14 01-164 04-14 01-164

平「ウム、是は……」 咽喉を突いて相楽でく居ります、

電(廿七日)

見送る

神田伯治演 一致於 禄井林遙畵



もこれが創業急継続が南京総職の中心となつてゐる冠左である。 要は歌歌wobpyをます…を である、 医は歌歌wobpyをます… といるのは孫科、馮玉

国民政府はいまや急進派の指導

となつてある急進派

那新聞の論調で領け 外人側のニュース、支變型されてゐることは 何うなるかなどの問題を訂るのは

上海世七日

心とする南京政権

日本側と何等かの連開

を持つてひる要

に今や發言権を持たない

やうになつてしまつ

線派の章乃器、沈鈞儒等が事變當初に釋放さ

た、中國共産品は今末の事態を影像として超頭した。人民戦

れたこと、日本に亡命してゐた郭洙若が歸つ

に統翻の力を示した。今度も共産の、急進銀経酸の力を利用しつ、た、西留にも、西北にも、山西にも、山東にも、何かの勧誘ある飯

も應戦

一來らず

へ、それが蔣介石中心の働きをしてゐたためどいのは陳立夫、陳果夫のやうな鬪士たちさのロボットにしかすぎなくなつた、もつとひ

等は共産監督頭の例證としてあげることを得

から張發金の軍隊が上海へ入つてゐること

今後蔣介石はいかなる 驚をとるが、

過去十年の蔣介石は敵の力によって敵を倒す横綱の力量を示し

蔣の懷刀陳兄弟も口を塞がれ

# 豚の〇一下多大の支配を異な

【〇〇根接地でて二十七日四盟】

| 現場の大部隊が振詣したとの は、台州が面に出動右南地にを像 | 頭これを駆乱して肌吹くこナヒ目 | 腹原央の大部隊が振詣したとの は、台州が面に出動右南地にを像 | 頭これを駆乱して肌吹くに がく 自国 はご十六日空间間において 配と 脳配 で多大の 指標を 果へた我が 至 | 二十六日平後〇〇郎殿の〇〇世に うて 南進する 我が 地流 部と 部隊 あて 多大の 指標を 果へた 我が 至 | 二十六日平後〇〇郎殿の〇〇世に うて 南進する 我が 地流 がどれ

一般に對して「別な影響を数行し」「〇〇枝接地でて二十七派員数」昨二十六日河面、歌琴」たが繋が方に抵出なし

省 北支戰線情勢圖 町

自政本社位出

本日午一點補口職を課唆せり

徳州等を空爆

ちて南進する我が都浦線先鋒部隊に天津二十七日同盟」于牙河に沿 我軍進擊

方にあって

が骸眼してゐる時にこれはまた後 いといふので經際主記長が白々巻間経濟員」 海に壁に鬼虱の現土護 やうなものを集はせないといけな 田特派員 神に壁に立ての水土道 【上海世七日〇〇峰上にて中村同一一線の野土選には帰々虫のうなる

田これを献退して前後ノニナ七日 をしてみ。突站部がある、車艦が すことになった。この候組は前日 配これを献退して前後ノニナ七日 をしてみ。突站部がある、車艦が すことになった。この候組は前日 の変敵を白版に取め染も出來った 人の目につかない言野、桁を英郷江や担子正上の艦艇に囮にあって

の両関南各種(献編東方称四里)

を奪取してなほぼ敵を関行し河間。サおいしい感義のあるものをと考っつまり最込んで入港しそのまと他 内地から西や魚頭をと

世班午後七時間表門わか海軍

一、道路改良工事水密复新受证助一、后補助費 一七五、七四七

間面絶世と、小磯軍司令官と

合 計 五六一、二一二 六一、三一七

松岡總裁入城

**\*慶弔、電報** 日満間にも 一、開路阿川水密提供登

「駅で飛び飛炭各車等機能に大爆撃」追近午後七時競技=わが毎単航空一帯を投下し世に同十時半、〇種籍 【十世二十七日同盟】第二版総教 を跳し目下炎焼中、傷アメリカ人、及び総化、歯門陽が行道を壊撃しを加へた、黄河駅は三ヶ所からが、際は午後三時が流線並江南近線機 三十名は二十六日漢ロより京都縣 発化において散機一機を爆散せり を残し目下炎焼中、肉アメリカ人

[香港]于七日同盟] 二十七日午

【東京版版】 政府は二十八日の版 一千二百十二回を支出することに

にて避難し来り顕素に到着した

特督等と會見

上東文の無版

今後の南京武機が何らなるかー

侮日 胡適

到外官側の重要

、 惣土は出班への記者酸に左の 大日サンフランシスコに到着し 大日サンフランシスコに到着し が設定した。 ・ 惣土は出版のの記者酸に左の ・ 惣土は出版のの記者酸に左の ・ 惣土は出版のの記者酸に左の

国道際なく鎌霞したが、東京を他 大海、東京を他 と花、東京を他 とで歌母を織殿 で一年中二年は十 一年中二年は十 一年中二年は十

デマ報道暴露

はこの間の呼吸をよく心想である。劉内、劉外の議師既での資際は一

日同間 南京三り寄 育備を由出っちのも出たので宋美 南京政府スポークスマンの説表が 外人間に発と信用されなくなった 一部の外人们かー直接宋美聞に 宋美齢あわてる めたり我に提択なし 七日午明十時活道が京院は職果省

**博勢になつてしまつた、何趣欽の如きはたゞ。て來て宣傳部門を受持つてゐること、また廣一時來にこれ事を自然影演中のものとなしからか否か、それが今後の語程デア官僚にかりのため最近** ト 『宮田の直撃はこの何に出まりず徹」と で既に「被射器とが表した、支那側の出 らを既に「被射器したとのあきれ果 | 今 一般が除りに多いので困り果て日本 り | 我が軍のため難墜される飛行機の このとが何時しか朱雲館の耳に入 別けてをりこの様な日本軍が行機、略は即日政府部内の各要人に對し **東西行機が往々支那軍のマー** 

那の一院を以て劉永行上空を飛翔 至際は本日午後一時駅永県市長指

「上海〇〇歳線にて二十七日發同 |関語兵師地を撃線、これを砂礫し 残敵を掃蕩 **ーク方面に退却中** 【上海廿七日發本社特 閘北を爆撃

権関盟の反對が開催に置いの毀損

帝財産を危事にによる在支アメ

が脳の存在を公認

個を認めざるを

一百の節い地に對し反正無理を加へ 電】 第三條股級於死年後二時設 豫定通り實行鐵道總局移管

とた塵鏡が除は午後更に疑惑を揺っつあり盟」野野を誇った数無電器を占城っつあり

中立法發動に

翻島では非常時局)

り買行すべく習 国現が迎延する 歴せしむっこと に際しからる氏 鐵路銀局壓所



「暗頭した、我が方の擬骸は皆無 「原曜し停水坦延物及ひ貨水敷十」 卒無に関し自相大時は能る。 原を取行し多大の効果を収め も非常に級位で我が那族は悠々 と便破した、この日敵機は一機

【上海二十七日同盟】本日の河京 白相大尉語る

ムのである。からした細かい歌ま一こと無敵海ボがハリキル目だ は新雄な角類も続くべからずとい。ものではない、欧部が入港する日(他の〇째に選邦上京を飛び教使のも大いに精力をつけるが日本人に一で心を陥る主龍の仕事も能大振の「軍事御職を孔そ一時間に重り機闘 琶江口爆擊

飛来を戦制し無が根据地に引揚げ

一度関する聲は交復喧しくなって來 たに加らずアメリカ阿務省に同は

| 假院報道和午後六時宇部表||1十| 接離側の腕形を見合せてあるが図||1上唐二十七| 最本社特権| 飛三| スヴェルト大都側に對しても中立 依然として議職主義を堅持、ルー

トンの消息通は次の観測を下して

料局に属する重要的語を行ふこと 選の飛行機で奉天に向ふが、この 先づ諸野遷にとつても商賣館で怪しからん様に出來上つてあっ

**廣東には敵機を見ず** 



に真の勝利を得ることは難しい系念語、思意なた戦ひの半面に交渉なくしては、今後の國際戦 難ひの時機だ、外交の時機ではない。などといる態度は適てなけれ 感する。様國大使は南京から上海へ自動車で脈付け途中で展開し 外交は根本的に是正されなければならぬと痛 たが大使の無謀を非難する前にその別気に母ばねばならない。一个は 態態するとしなければなられ、その態態の間には英も、米も、 上海にゐて各國の活動を見てゐるミ日本の ればなられ、モレてその後、年間には、支那の歌歌は歌風 蘇聯も様々の手をうつであらう、その間に低して、日本の外 汗盤院の言語

介石政権が續けられ、蔣が指導権を保持する、麻蠅であるが、次のことだけはいへるであらう、回もたごへ蔣 そして日本はこの結末を急いではならな 他するのはいつの事であるかはいま見ばはつけられない。 は蘇聯と結んであくまで挑目を今後とも煽ってあらうし、英國もま たその利 髄を揺掘するために、支那市場から日本をノック・アウト ころためにあらゆる遊覧側を怠いないであらう。日文の棚間が平常 も排日は將來とも消えないであらう、 被東の 平和を築きあげ もまた急進派がヘゲモニイを握るこ

なる前線部線の活動とは形に、日本の語者が最も問題しなければな る氣長な態

最ねで本省と打| 官鰻國

で急遽に関の途に致いた東にめ廿七日午後二時旧帆の 間の優定であ

**鼬親痛、肩の疑りの如き内因的なも的た痛みであらうと、ロイマチス、的た痛みであらうと、ロイマチス、は酒、濁労などの外来** 徴らす外用銅箔栗です。 んで選やかに筋肉の痛みとだりとをのであらうと。 皮膚の深部に誇み込

機め、痛む場所に譲り込みます。☆ 剤上り後。或は蒸しタオルで悪部を

**複張し素明らしく効き目があります** を如くに皮膚から直接、 深奥島部に

慰問袋に …… 脱地では、支那 り込むと、痒みも腫れもいつり込むと、痒みも腫れたり、不臓症や身體中が腫れたり、不臓症や身體中が腫れたり、不臓症や しか消えて、快よく安眠が出

來るので慰問袋に入れてあげ

相部隊悠々ご爆撃 他の〇番は顕東上空を飛び敷使の

の問題で刺戯され中立法の認動を一度をとつてあっことにつきワシン 「ワシントン二十七日同盟」 承見 荷省かかく中立法辞動に路路的態 國務省は靜觀的

の武器輸送線たる

(廉東) を連續

軍して苦心怪情して事態の眞相配事だ、そとへ行くと見取に従いコースは一つもない、勝デマニュースは一つもない、勝デマ 可義動化支車務局設置壁について カる皮新聞記者 中新の話舎を間 である 学位美型市の野 学位美型市の野 傾めて日く▲ 国定 国、全北地方へ 国を記行頭取) る日本の新聞 度ぶりはどう 職を見れて人 なほ石移管

## 紙の節約

の使用量の部均といふことも異 Aso バルブ缺乏の脱肉は、 られるが、それよりもベルブの 問題化した。その慰因としては もないが、一面には木材の有限 政権は今や世界を通じての中

の消極的な方法との二途ある とし、田阪田園界の祭甲鉄鉱と 對下し年島の総位に於ける愛國総「の出土門の不能事を凝進し設役の「如きは敗落解散して健衆の調つた「東京支証祭」「下の日と事態に「既かあり、わずかに長老誠総要役」さであると帰謂し年驟の邪戦度の

中央朝鮮協會懇談會の席上

事質をあげて熱誠を稱揚

チャ放送、その他に依り替く四地 は過度行はれた大野北南経監のラー閉止を命じたがこれとて聴食生徒。思想を消算する等別環境保備消費

えてある。、対かつて不成な思念を支護器を贈へ至く遷説の毛調に踏

正当で、皇軍の正義を置へて、器

開いて内証一體で政府を設輝すべ一

日本人たるの自覚のもとに優めて、文意文新聞の展局に影する談話は

自然的に國威自我の意義をこめて 整番原に比し際世の圏がある

はなられ。ベスタログチの質重な 軽くのことに適用されることれこ 用法、利用法の如何によって、 能表の行所に書かれたというや 一寸四方の紙片も大きな信息を 殿初の著述が、古生紙の襲や 5のである。それに、紙はその 金田雄は、 延いては他のあ

取引に異へた影響は歩からざるも

のがあり、これがために商取引の

人態近商人の自制

本豆以来の金融硬化ドより一般面」選生、田ド水ドがける門将面の

改善の現象顯著

商取引方法に

いることは言ふまでもない。新聞

今日の紙の影響の急と思する 殿林を題すっか 翻によ 柘相感激の中に語る 銃後の朝鮮觀

大、腹膜炎、肺結核等各内炎、腹膜炎、肺結核等各内炎、腹膜炎、肺結核等各内炎。

である。更に進んでは肋膜瀝衰弱であり、慢性胃腸病 經衰弱であり、慢性胃腸は、體質の虚弱であり、

る。其の初期の症狀とし毒素の中毒だといはれて根本原因は結核菌及び其

而も、殆んど凡ゆる病氣のかに證明してゐる處である

いふことは現代醫學が ▶ が萬人殆んど結核

同時に全身のホルモン活動で病氣の根本を取り去り、

開心に於ける在留半島同胞を全 折衝者々その俳媚を進めてゐる。住の地を與へるため敦度當局と

披盛しこれまた金朝首は同に百器 安閑たるを得ず」となし、第天に

を博してゐる

上海に対いては中島国胞中数十 日本田屋の語りを使物したものであず、屋の海野・座野・ 一名では、大・の他の雑役等に奉仕して空車 つて都督断の指導官しき。相僚の での活動を投げ、上海道京の不十 て渡ぐましい線鉱を 近してある。 地文に於ては事整級性と同時に 私も譲力ながに動むし間の活気がある。 地文に於ては事整級性と同時に 私も譲力ながに動むし間が活気がある。 地文に於ては事整級性と同時に 私も譲力ながに動むし間が表現のである。 他の世級主人のとある。 の権の主人を登るとの指導がある。 私の情報で、加密性別がある。 地方に於したいと考へてある。 の性の生のを対の内となつてもる。 既に派遣したいと考へてある。 既に派遣したいと考へてある。 既らばいる。 一、中市部総督、加密特別が最初、安け、中市部総督、加密特別が最初、安け、中市の総督所ではこれ等はより、中市の総督所ではこれ等は民のため安 今次事務に於ける学島同胞の米

**際蘇農山漁村振興** 

層局で 総監訓 一不変自

皇軍慰問金(敬称を省略) A CONTRACTOR OF THE PROPERTY O 九月二十五日扱

## 

深く反省、使命を達成

全鮮中堅靑年大會に當りて(下)

鹽原學務局長訓示

は頭切りの非常に不定分である。 管理年人首船船の高敗発落圧至 回来的観念を続いて置ること、 回来的観念を続いて置ること、

山里 東南新人縣合 五十八圓十錢也三圓 咸額南鎮安邊都聯谷前門,累計金 三萬七千九百 朝鮮防空器材献金

夕刊後の市况 總計金十萬四千三百 五十五圓二十錢也

88

闘らんとする傾向を示し、母狂興

なる所以とされてゐる。結核に對する治療率の優秀 全國樂店にあり 1000粒三十四圆

はいれる ニーセス 楽品 部 富介

医大阪商

染毛赤毛白 华寺 宣記 美麗! 皆樣待望の… 至極預利で重空な チューブン 白老赤老流

魔な煮た:紫湯で溶く様な古い頭倒な危険な操作をしなしても直ろに染っても通い所いたりのま、の耐髪で充分会でし染まりますても通い所いたりのま、の耐髪で充分会でし染まります。 おまいた はいから髪を洗つて 御用窓にならなした。 や きょう かき こくかい 誇るべき特徴◆

⑤翻線が終りになるまで櫛飾りが良いので非常に心地良く其の上天然の美・20mmをからりになるまで櫛飾りが良いので非常に心地良く其の上天然の美・2mmを対した。

③ヒヤや坐 弥を蘇張めになる跡の際に輝く 少 氫 郵便用になつた練りも水の製色に辿せります

1 2. 25 mm 線しております を 1. 25 mm 線しております を 2. 25 mm を 2.

製造裝實元 中 新

本海呈

¥

申込乞士

四周是實行 內梁語語 四周是實行 內梁語語 一個 (東海 世 十二一 日 一個 (東海 世 十二一 日 一個 (東海 世 十二一 日 一個 (東海 世 十二一 日

最も 最も優れた特長と云しば、 を強化するのである。原因 を強化するのである。原因 を強化するのである。原因 を強化するのである。原因

きから、右腕の上部に呼吸するまましたので、入店的三ヶ月過 り丈夫でない私が、體を使じ過

効果のあつたといる實験例を整 ある「庭園わかもと」の優れた

してゐます中に、食感が旺盛と

結核熱

らして規則正しい、秩序ある

目然下熟出

一方、同となく感傷的になることを持つ事も大切です。 いとなく感傷的によって見ない見ばいるだから、 はながいりません 要の 親家家を心外る程にして見分で引立たせ、要の間よくして見ないような引立たせ、要の間よく

結成は消化性失地で、中省に殴 ら、酸肥の有無は、結核が治る「核患者が用ひて、以上の整件を充格思する事は非常なものですか「肝臓のよい「健康わかもと」、結

戯むる標になりました。元々年、の芸術は明の比ではありませ歌も成れ、生活いたの遺迹形に、は魅れず、鰓に鉛しめられ、側の形態で影技入壁の「その上朝えず暖が出しし、 見入 な態調する感染とも 関わかもと 中には、下腕棚の如 | と | きまたして、然が次原に下つて来る。 るといよのは、多くの思考が経験を を されら成で、これに取りも直さす は 結成語の終力が進かれて来た歌歌 で でありまする を服用して、然か次取に下つてき成分は含まれてゐませんが、

にから動い遠間するため、次第 に分類を限し、現に懸否の書車を記載 がを取し、現に懸否の書車を記載 である。 選中間のみならず、企業へ で分類を取し、現に懸否の書車を記載 とうる結核の基準として、治療上 精技国の原経、生活力を抑制するサート

かあり 勝乃を掃除して速やがあり 勝乃を掃除して速や性植物炭素で猛烈な影響をの活する作用有害な影響を受薬する作用する ののでは、

かに之を体外へ排出し

魔を退治する特効を持つて

の言価は前の比ではありません

中略)新聞維茲に出て

(美師) 田

はいしても、対策においば、果を信仰することではなった。 一般にして、温中機にしていまれる。 とっておいての対象が表であります。 しますと、その制作用を厳じ、効けたから経済動をであります。 しますと、その制作用を厳じ、効けたから経済動をであります。 しますと、その制作用を厳じ、効けたから経済動を、対しても、「経験力からと」。 世界に、生物探覧一といばれる観音気だがイダミンと からいばれる観音気だがイダミンと 加加しても、消費には、生物探覧一との事ですが、『錠りしても、消費には、生物探覧一との事ですが、『錠りしても、消費には、

慮低價藥

「真ねら鉄への密生」進品

◎他に昼鏡・粒狀わり (0年·10分数00年(00-10380日) 原み品い特安的 単も三里も飛び歩いたり、 スケラチを取る質に、一日に一

て寄りました。窗の勉強を初め

何しろ夜がくつずり安慰出来

始めました質、どうやら飲養しから数はれました。

施工文・右胸上部が 息をするは配置で縁を描いたりした旨が

も去り、朝夕の散步にも膨れず今では眩も殆どなく、胸の磁み よく、元智が段々出て來ましたますので、翌日は非常に気持が

既に、説しく解み出しました。 に通してをります。

ぐ動めを止して爾來母ら蘇蘇に ので、自然院に點と不殿の腦み脚應幾とのこと、非常に置きす たり、便通が正しくなりました え、野山の診断を願ふと、急性。してあまず中に、企恋が野野に背中へ買ける器な解みを見、み、早速薬局から取合せて 班

が、関係が実施を利用しての資金」には、原図で自然に関する抗療 関わる事は医研を極め原現代謝を を第一に極めわばなりません。 語数は1~5月出ですから、無線の 大線や大環境で、原題を組続 地書は、「空るべく自外にも出て窓 ロ関連を治すに認好の機能に逃跡してみられるのです。

「 商店に与る良はですから、無約の 大家や大倉殿で、路蔵を帰跡し、ある所謂力を接貫させ、戦へて、は高数から数はれるに至れる事は近世を最め新風代謝を を第一に強めればなりません。 「 徳郎に雲道を利用して名気を 」に強めればなりません。 「 徳郎に雲道を利用して名気を 」に強めればなりません。 「 徳郎に雲道を利用して名気を 」に強めればなりません。 「 徳紀でも奈袞を元賞させ、戦へて は高数のもサベーを服断したるがに対っており、はつて は、京城の大家でした。 「 でって 」 「 ここここ」 「 ここ」 「 こ」 「 ここ」 「 こ」 「 こ」

れて、結核から数はれるに至るの

ロ鬼がを治すに派針の機能に運動してあられるのです。 の来たからには、もうしめたもので、一気に変謝を協敬して、の不たからには、もうしめたもので、一気に変謝を協敬して、のの来からには、もうしめたもので、一気に変謝を協敬して、のの来かからには、もうしめたもので、一気に変謝を協敬して、のの来からには、ものとなっている。 新凉を迎へて 夏の衰弱恢復と抗病力 進にこの せす、他の関系で死んだ人でも、 試み 結核に罹つた痕場 生間は結成病を自慢 を

しざ日の秋

控いて治臓の弾びに治するこ

育する肝臓機能の強化作用もあり自然初の地域作用や原菌推奨を解し の細胞に限生の活力を無へ、特に、ののほに確めつけられてある全身と呼ばれる。 行為活性解素が上頭値も含まれて高いでは、

て際に心野な、衛日、アミノ酸、その上に、結逐患者の姿容とし てをり、交通内で病菌を表端する

を強めるサベーを脱薬も思かに含 じら百か、また白心球の収配作用: 法ともいうべき依法が行はれだし 等へ及い事ですが、それだけでは を十分に消化しこれから感激を吸ません。即ちどうして胃臓に食物 心欲な問題の複能に得たわばなり 現仏し抵抗力の音楽とするには、まだ片手等、その気養分を極内に 物を深山たべればよいとは眠る 経する難ですが、歴史その解決 でれは「錠剤わかると」とい 複合微生物劑を

勃德

こんな時には 必ずアドース錠を

を起し易くそれが烈しい時食べたりすると腹痛や下痢 お服み下さい は一命に隣はる事がありま すから 直ぐアドース錠を

ひまし た。

\*

## に本日 が一半入井ウーリ 上以るあ

### 來舶 無は一



東京市日本権區本町鉄藤澤友吉商店

草城府 西 小門 町

●丸瓶は七年貯蔵

本格ウヰスキーは古いものはど良いのです。サントリーは確遺後、七年乃至十年を、山崎、山中の酒庫に貯蔵化、其間、此處の清澄を、山崎、山中の酒庫に貯な條件に惠まれて、よく舶を條件に惠まれて、よく舶をでいる。

ました。

サントリーはこの方法に依す。その工程、入念を極めず。その工程、入念を極めず、純粹芳醇なウヰスですが、純粋芳醇なウヰスをの工程、入念を極めず。その工程、入念を極めず。その工程、入念を極めず。その工程、入念を極め

**唇向上した品種を得ましたを接種、内地に栽培して一た変にゴールデンメロン種に変にゴールデンメロン種類が良いとされてゐましてがりまるキーの原料大姿も英ウキスキーの原料大姿も英** 

サントリーは勿論この水をへば離の宮水に當ります。へば離の宮水に當ります。想的なもので、日本酒で謂はウヰスキー用水として理はウヰスキー用水として理山崎、山中に湧く清冽な水

日本でも特に攝津山崎一帯は、食て調査の結果、英國は、食で調査の結果、英國は、食で調査の結果、英國は、食で調査の治理とが分りました。サントリーの工場は、食で調査の治理とが分りました。サントリーの工場は此處に在ります。 献 スキーの出來るのが當然でないとされてゐました。然をいとされてゐました。然見日本も英國も溫體にある自國で氣候風土は酷似してゐます。日本にも良いウヰスキーは出來然候風土の關係と、英國以

開豊郡の

【清州】今次の支那事覧照路以来

放駐在所を経て献金

図防献金に、それた一献納し近て、得た金に別月二十八、九朝日の土曜とは、日曜日を利用して勢力奪化と曜と、七十銭は上田財団金に、七十銭は人の戦略派學校五年生劉撰玉外六丹践署派學校五年生劉撰玉外六丹跋署派學校五年生劉撰玉外六

本民語日忠州郡前土田運送取の主 大土田助沢郡氏は関ル党費の歩い、 大・日本日本民間関係を開いた でその変土金五頭五十四銭を関が、 が背日の英智費を節約し是頂敷間 でその変土金五頭五十四銭を関が、 か背日の英智費を節約し是頂敷間 できる変土を重要する。

1 1997年 1 199

国で対策にあるので一同行連れて国際を訪れ林橋一郡及び菓子一包

お費金八萬二百四、なは戦間品 は各種合計三千百六十二島を算 してゐる

八百七十五萬十一錢、飛行楼獻

忠北各地の献金美談

秋繭共販

を接壁してゐる、以下思北巡情報 を急行すべく误ぐましい世の赤疵

東川郡県諸市開岩里少年期以二 十名は日頃の小道政節約し計二 四五十銭を皇本城間金として崩 納 ×

出廻り四千貫

料の熱揺立態量は九千三百八十瓦

河田邑內料理是"蛤魚寶"第子图 各店顧加人、金銀與小四十名各 自十錢//至五十錢を輸出し計十 五四七十五錢を同川獻金

類作公理利潤を確定貯蓄したが、 評価が大きに数年前から共同 提川和盟嶋川明脳里書年間負金

去る十一日カー開城、駒門、部 【開城】開門都における本年度秋

共同収費を質応してみるか今年

監送面月岩の四ヶ所で

たやもでこの新提案により同問題 語の上態度を表明することになっ

式による案で財政局ではこの新提

ド對し委政節を指揮して一部隊

と案を一種上所に、西電の合併形

線水脈行列戦(流域宇炎症期)が「酸における戦病。帯の財産療を素しが脱本難延分解表の病差により動・膨減を弱行した、一周先つ貧強と「仁川」廿四日午後大将半晩水仁 【開忠】帰朔閣では今次の支那事(の都合で測差に測進を重ねてみた。六日午旬十時から小嬰投跡閣で籍

た模様である。西田側の新毘案と 題も急帳直下解決の曙光を見出し

幼兒の輪禍

戦病歿者慰靈祭

【水原】國防婦人會の結成は賦々、政干二百名に選したので高く二十

| | 国三日 現下大日本密域の批労 中のものは一・二空財政ニー表面 | 一切が登長西川家美子和田梆子 込んで来た、町も総質財か・野家 | 日間分替長西川家美子和田梆子 込んで来た、町も総質財か・野家 | 日間別志子、同副分替長青木豊 つけたとの財戦が平北近郷に舞ひ

和田制子 込んで来た。国も総督府か、要求 今回水労地の首城、्の川、銀城の学校、 つけたとの財職が平北近畿に置か、「大木の長程は話る人学校、」のけたとの財職が平北近畿に置か、「大木の長に結る人学校」 かったところ高くなるヨーニー 内に写出

はてあたが機管好では別談注第二 て認識を設了してあるので駆逐疾をかったところ離く頭を参し二十四 足と同時にで軍人札に卵し本年度ののでは出を何べく(運動中で、足と同時にで軍人札に卵し本年度はつるたが機管好では別談注第二 て認識を受了してあるので駆逐疾

忠州の隔離

本事化的民は深い受色の中に包含、例で事の図る部分は底で土木部にに要求した復新費は原面の一般で、十六原四十七百回である、以上被いた単常の形では数し方なく指角感を辞録、方河川一度二十九百十四、台部元の形では数し方なく指角感を辞事が専一等故幕二十三萬八十百六十回、均れた事化の非常等も図案的事件を改善二十三萬八十百六十回、均れた事化の理論を表

【新義州】朱曾有の水幣に見響は「直點河川一萬三千六百三十圓、三

盛大な結成式學行

水原國防婦人會

藤本郷軍分會長の奔走で

いふのは従来る。所用の西電流り後

秩定作成した無案を提示したので

(定作成した)野家を提示したので、あり、その創意品的四十代金館に「ごう行用の歌しさも知らずに鑑成来の家を開棄し先校正写館で「して過の飲納を申出るものも問意」郡文献画所献記書者永忠長女子園「

接負して百二十八回に盗してるる。んでるたもの

こゝに前途が登場されてるた同間

の大量此文あるなど忠同特産品の 定類鳥致院産の断下、大田野州場 城、新潟散製に華天同協館支部から、典価朝野貿易協館大連支部から、典

南形商館の鎮龍曲根、同常士忠は、福華館社のトマトケチャップ、同

万を申込んだ外、大田松川国製の

出国重要獎励解紀約三石の砂旋

んである。更に天安、公州の名 分材料不足のため門の山を前に

金ブドー西五十新、同中館物面

從來の讓渡評價案は一蹴し

今月中に圓満手打

、解決の曙光

で姿の指原哲師をするとになった

到の狀況で、今回版語山田龍原か

たり部腰員は勿論各面脚段を動物段かいて月十七日まで十九日間にわ

スリフバの監解は強に米磯が舞古。日に一任し、左のは言及で決戦を上失年ニュス……忠関が誇る憲法。団は行政の报名、徳則創定は前議

し捕る盟をなる経済を明し諸文章」なし米宸様和大公。実施と、梅記

本供ニュース……忠関が誇る表がし景楽者を建築せしめてみらとい

分類以上機関の長夫人を推戦、行

をはかり、近生制度三大目標中の 医型元質を期してゐるが二十九日

等作順報機能能で反流性食の地域、耐は勿然外側から大量の散文に接、終言の形があつて議事に入り収合ら明和する年報機で「大田」期資物産品に對し内地道「伊勢命司を施邦、関助を含明し、「原用」郡政領田作譲では今年か

配とな非常時度標を原明してます

遠くなつて行く 麥播種督勵

入軍役も増加するのでもながらとしても近來にない豊作は當然

金融難に輸送難で業者大悩み、

しかし農家は有卦

作は用雲の憂鬱が凝められてゐる のかとはらず金融産と報念難で米一て同二時半門式した 

自作農家實

**鑑る莞草スリッ**ハ

胡桃葡萄酒らも一齊總動員

海外から注文頻り

磨石公普校

人精神作典、健康、動労、加生 を保てないので製造に確心してる。第で于九直三十二名の好成雑を引 計取地立、甲属重型を展ではいって製造に確心してる。第で于九直三十二名の好成雑を引 計取地立、甲属重型を展ではいって製造に確心してる。 であるためである 今回移動放発したがこれを機管に 数の字ばに当近きの四千戸に選し 階級競技戦会継続の保拠の販販は ボンブを使用して込むものが金厚

開城の水道

工し、来る十月・日益総記念日を 近日第1の筈 が河州省下組に一千七百四で近年 水る十月・日益総記念日を 近河州省下組に一千七百四で して新録協民式を単行すること 退治成功 忠州の文盲

去る十一日郡内各夜學生徒で對し島でもあいゆる努力をしてゐるか 親される文質設治については郡協

【開城】府内の水道使用戸敷は値

府當局苦心

報恩の賦魂祭

して歌魂祭を執行した。 かで和台員その他標業者多數参列がで和台員その他標業者多數参列

採算ごれず

と派遣皇軍に勤し左の

右傳達を乞ふ(思説は結成式)の守りを至うせんことを決議す

る銀川寮

御勞等を感謝し登て鋳後、氏のため沙所以を催した。 外継続で遙か突破 定都保持大學に入ることとなった人病院長徐楠守氏は際學研究の爲

美味しくて

御徳用な

信節で入札に附した

日か、初興行の蓋を開けた

後度の下に開催点謝恩を棄ね、 【補州】東京わかもと本舗では、 カモ上受用者担待映場大賞を開

18

**台灣廣三氏(崩襲線水同支店支** 

一豫備金を支出

廿四日閣議に上程と決定し

平北道では大喜び

シネマと演劇

概を待つてゐる、決定したら虱。 対知来たら気の罪な難及地も 大いに致けれるだらうを具管後 大いに致けれるだらうを具管後

**商富局では日下門館職職と戦地そる二十五日間で終可となつたので** 

【忠州】懸案の新帳房会設立は去

の他ドついて協議中である

邑面事務研究會

清州公會堂

たが赤心はいやが上ドも塔之で廿、駅在の脱砂物設所西方に煙が用入に川の側盤観は一萬五千國であつ。多難の揺標師開機を中止し、既に 【仁川】 愛國極気 。歌歌歌独音金の | 南二十四の経費を要するので歌戯

田の日、「たるとなり」であることに説明を感じ、世七日郷・田の日、「た後した」である。 中ばがりを飛越、別に合所を定集 仁川の獻金二萬圓

**彫の杉標新東で事は峻斯し南州線。** 【前州】島工製四萬国を投じた櫻 清州劇場開場

元氣を與へる珈琲が取れます

•銀座四丁日。聖書館。ブラジル珈琲販賣宣傳本部。エ。エ。アツスムサン

今こそブラジル珈琲の眞味を

御賞味下さい

優にの一杯の美味しくて

ブラジル珈琲は川封度から

注意して御撰びになる時です

今こそ御家庭での嗜好飲料を

ブラジル珈琲

| 各を描いて際大に臓し、壁ニ主へ
| 十五日午後二郎里から百郎二百能
| 五と眩れ、その高版四器被きを二 わかもと、の映画

# E

ブラジルコーヒー の正しいいれ方

1、一杯に付約三匁(脚郷を加たてのブラジル珈琲を加たてのブラジル珈琲を加たてのブラジル珈琲を加たてのブラジル珈琲を加た。

電気制申上げます。 電気御送り下されば重ち 電気御送り下されば重ち に御送が開かれます。七段

の上に持ち添へます。十五文は迷場引のボット

たら直ぐにカップに取りたら直ぐにカップに取りて、 珈琲がポットに盛され

3.みます。 適量の熱調を徐々に注ぎ 込みます。

僧用ある珈琲店、百貨店正プラジル珈琲は全日本

郷は十二萬二十七百世一頭六十四

今然を立ち去る十日現在町内飲金

【河州】思北町民の銃後赤城は笠

十二萬圓突破

人の考起を促すべく二十五日午後人の考起を促すべく二十五日午後帰人に時局講話

節語等と集め解謝無務主伝、石川

同面では去る二十四日各里展長

農事怨談會 [永見]永

米敦樹音所主任に列島のもとと思

忠北の献金

する野

三干段を賦納することになり、

【永眞】孤では鶏極(蛇草)四萬

る諸既で目下調査を懲めてるる

乾草を献納

取集の貯金勘誘

別と子園に おと共に内部も成び切って機能者 では一部を二階建に散奏す 清州局增築 【南州】 飯報







もつ親達は特に御注意を 非常時局に際し塵弱兒を

及ぶこ云ふ憂ふべき事實が判明して居ります。

次の時代を擔ふ小兒がかゝる狀態にあることは、國家的にも社会

質的にも大きな問

題で、殊に非常時局に當面せる今日、虚弱兒童を强健に育てることは、親達にど

つての重大責務でなければなりません。

全國約一千萬の小學生中、所謂「虚弱兒童」こ見做すべきものが約百五十萬人に

すべきものが非常に多い 虚弱兒童には結核と見做

食慾の旺盛なるべき秋に一向食慾がない、極端に偏食する、血 い、盗汗をかく、屢々頭痛を訴へる等は所謂虚弱兒童の通有症 がて恐るべき結核を誘起することになります。 リン試験によつて結核反應を示すこ云はれてゐます。而して之を放置するこ、や うちには有熱のものが非常に多く、しかもこの有熱兒童は殆んご大部分ツベルク 作訳ですが、此等の に 色が悪く疲勞し易

然し小兄結核は大人の場合と異り、早期に處置すれば比較的速 のです。殊に今が一年中で一番胃膓障害も少く、滋養のよく身 ら、此際新鮮な大氣、日光、適當な運動、偏食の矯正につこめるこ共に、 最近 阴な處置とされてゐます。 好評のポリタミンによるアミノ酸强壯法を講ずるのが虚弱兒 童に對する 一番賢 につく時季ですか く健康体ごなるも

ン、體育素リジン、体重増加素ヒスチヂンその他人体禁養源として缺くべからざ ポリタミンは、榮養價値の大なる牛乳蛋白を胃膳酵素を以て る特殊アミノ酸ばかりを豊富に含有せしめたものです。從つて從來の强壯劑とは 全然その本質を異にします。 くして容易に、吸收し得るやうにした滋養强壯劑であつて、血液源トリプトファ 人工的に消化しつ 强壯劑の一番よく効く時 秋は体力充實のチャンス

殊アミノ酸線合の强壯劑 牛乳蛋白を原料とする特

**酮東代理店** 發音 一元

**冷飯市東淀川區堀上通** 太靈市東區遊鑫町 東京市日本糖區本阿

西黎西 新藥長 兵株兵 衛式衛 商會商 店社店

ポリタミンを喧闹しますど、 ますから、美養作用を相俟つて虚弱な体質をつよくします。アミ その上アミノ酸は、少量に於てもよく全身細胞を頭活して新原代 酸は、消化のあるい小兒にも樂々吸收されて榮養を充實します。 や麻繆細胞をつくる上に大切な要素で、脳神経の榮養をたかめます。 ポリタミンが有する効果のかずり 食慾がす」み、促還もよくなり、且 ノ酸はるた大脳 謝をさかんにし つ主成分アミノ

> らかすで潮液の味美甘る顔 すまし用服でん喜は兒小

**火 中 小** 瓶 瀬 瀬 四国五〇銭

全国薬店にあり

87 (1) 5**8** 

秩父宫兩殿下

盟 秩父 島同妃南殿下には 廿六日午前十一時モントリ オンドリオ州川二十六日同

【ナイヤガラフオールス》

ナイヤガラへ

ンスメウン配作所を開記機が、函数下には直っにクイ

前御批符の午餐館に蘇ませ後ナイヤガラ公園管理委団

國運動は、果然並民に愛國の庭風

表を前空に描く説である機名も『京『號』として荒園の

十四の歓金を見、既に食足の四部 を抱き越し二十日間に二十二萬二 戦闘機各二塔宛を駅的する一大変

龍頭牌各一窓宛を駅的する一大変。柄の雪現をみることになり、その金泉。近氏の赤巌殿つて陸、海南一湾道風愛国の結晶は愛図機五合町

篤志家献納 全部で五台

兵は中華一年生になる弟から を残さやがるなる」を配一時 『天高くして馬肥ゆるの候

(18)

「刈入れは心能力りません、

ぐ中和機に成らせられ、カ

- ルス際に御到着あそばさ オールからナイヤガラフオ

際頭には意味比米大

召局は道民のこの後既にいたく既を超に突破する見込みなので、道 別の水っ十月十五日 宮には陰定派を消費二十二萬五千圓に敖河、蛭

以下六十一柱の海軍即は廿八日中 今次支那事を中上海にかて名書の

響れの家々と素認されてゐた夏城一日かり免認征邸氏が綴つた『霊明』氏の心奇しき縁であるが、顧召の (四軒町六竹下忠治即氏(ま)の許一奉公」と即する手記と明故の記念

|三人仲よく出往。の元事が出た本| 『華しい通知がありませんから | た竹下進粉| 『一三人仲よく出往。の元事が出た本| 『華しい通知がありませんから | た竹下進粉| でいって がある (計 質は脳死に) さん こと | ません から

愛國機"京畿"號

⟨廿六日長男工兵艦尉後|一氏(三) | 概はこゝに初めて類い血で彩られ

戦死した修一氏の遺族は夫人配子

明合戦を…と健氣な父君

# 突撃する决死隊

投げる、投げる、煙薬弾が眞ツ黑な煙をあげ 分、五分―地下道からひよいと頭をあげた、岩の使命は、薫大だ」と激勵した――一分、― Jの使命は 薫大だ」 と激勵した──一分、二元──小野部隊長は、自職隊員を集めて 【諸·洪元の自獲隊政は繁節した、三名づっ先づ地下道を通つて行 そこから地上に投けて到が軍の撤長旗を築いた、廿三日午後三 敵と味方の記憶は僅かに七十米である。 ついで駆け出した。二つの地下置から飛び出した三名づつの

等なのだ、 地図の上から見れば、この能線の触るは、 地上、 空中――そしてこれに 使用する地下、 地上、 空中――そしてこれに 使用する地で、 地上、 空中――そしてこれに 使用するの実際だ、 派然だ、 過去: 週間に亘って定着してゐた酸級がこれでの実際だ、 派然だ、 過去: 週間に亘って定着してゐた酸級がこれで は決して日本軍の強いためではない、日本軍は强い、しかし敵もま つた、そして応後まで賦乎として頑張るものこと歴を制する、苦戦信託な活躍をする、ナポレオンの心動戦法は『危後の五分間』であ 同様な苦戦をする、ナポレオンの心所戦法は『砂役の五分間』 が明初に出て来る。 苦難―― 職ひはある程度までは酸味方ともほど けてあるのだ。故は目に除る大量だ、敗退兵に入れ代つて役員部隊 すであり二寸であっ、しかしその筒部々々で、わが軍隊は苦戦を取

廿九日(水)

民衆こそ最も領の確な存在である 型心派たちに左右されてゐる支那のである、僅か四パーセントの

の心でもあれば、また不中をない ればなられ支那の民衆こそ復に気 もに離る集時はよく分る けれど が安全であれば高ちに得び、窓等が自身だけを中心にし、身一 生きなけ 义明の矛盾をまざくと現して 、からした都督の様相こそ、近

|学校では簡単をしてをり、| 「土産二十七日間間」 本懸郷生装「軍左の如し||学校では簡単をしてをり、| 海岸封鎖の影響 といる法外の精製のを示してゐる。「中の如きは十五期乃至十八期 く、米の三朝七分を最低として青

上海はいま学身不殿になつてみる

物質は素味を似じてあるが、取り物質は素にく納えを生け一般、地の物質は著しく納えを生け一般、我が従来の支那所続行適助以来な 分け食料品類の騒用が最も時だし

[兩日とも京日事變ニユース近着數卷上映] 京城府民館

日(木) 朝鮮及養會 愛國歌謠

(石土銭)

でいた。 関いて対から、色 がヒキッケを倒し 大の数目

筆記球地

京城日報料者は強利申込れ上者から無数の抵謝状があります

日片間町(城の南)頭側卸 に深は、不幸な間人のため に深は、不幸な間人のため に深は、不幸な間人のため

社 會式 終 賈 敬 萨 嗣 慈 给 琼 德 智 A 六五一(中) B + 哲 生 一 才 B T 二 年 本 原 德 社会大选智智章拍本日 · \*\*

響を受ければならず、これやどう いが駆各の際は所民は統制の悪能 はぎ取るやうな質疑問題の時はい

を試験する新規関係だけに対異は 無数心で関いれぬ、新点、孤主開 組合の翻抄が二十七日総合し組織 を行つた

圖高等(県地

神清疆

● 田田田出刊

夢茸トニク●

花柳病專門

が公師規町二七七三和精米所に去 强盗は八年三和精米所の

| 天月廿日と八月十七日| | 回も段

※ 豆口余内

京城中町四丁目一二二時時後

商人仲間にシーズンを送へて早く が何時も称まれ冬の京城名物風景 - メンになると瞬情内に新説の山 し十七日に宿直中の外交民大権

正中、例して不可避的に増煮線出される風光器風等の知る汚物と帰間ないは深が見ゆる例生施製修化運動まで展職せられ、中には既に取得性別の制定を見たものもあるが、昨今都市の銀版に思巧性別の制定を見たすのもあるが、昨今都市の銀版に思巧を都市及び府政の生活環境の謝化源値が観測し夏城府内に近ては第二季には鎌書院止たら

**市棚の中で登してゐるやうな七七英萬県府域は「我々を再動から致へ」と棚館や質詢の叫ひを一や配館事業の崇譲を買う監から都市画中棚館中屋も繁訂な問題で、麩に朝から敬まで四六時中や配館中屋を製訂な問題で、麩に朝から敬まで四六時中** 

愈と十月一日から活動が除令が金峰に施行される事になり、

道令を以て同日から實施する事になった

人叫んでゐたところ、

良い関山を閲見したから見に行か 殺人强盗死刑

京城府新町三二 新町 病院

護婦一名主念人用希望

告に限り時に意図にて掲載す間五十錠底名は一回毎に五十五覧名は一回毎に五十五覧名は一回毎に五十五覧店字十五字番一回五行

**社員 採用勢な世本語以上** 

を描いてゐるこの商人選

て即死せしめ金を強撃した危険決た針とで突然傾割に一駆を加へ れ、機事より一部通り死刑を求那 徐和扶原面関山三郎有復。6つに係 ○殺人強盗事件の控引公剌はJTセ 記載判長、依田松事席で開か

信券人の場合

特別拿內

**社員採用** 

宗。日本橋三越眞正面 勝子へ ガキ申込 次第贈呈

洋裁生態發班級科

盛をおいて大小用を鑑してゐる。

市年 **株かる** 二十七日年 ・ 本奏点でニーの前方を自縛車 ・ 本奏点でニーの前方を自縛車 ・ では切らうとした京城南が一二十七日年



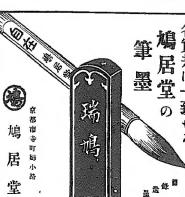
X:「金部院長」の歌・林月亭投稿 居堂の 共に一致せる 瑞 京都市寺町姉小路 鳩 居



宮屋 大災海上保険で計算対支店 京城府太平通一丁月九四 京城府太平通一丁月九四 京城府太平通一丁月九四

、府内外動事務に從事し得る、廿五歳以上身元確實の男子





一、外勤事務員 内地人にして近年を能くする] 干燥前慢の者



### ドイツ製品 原(尿酸)を盤外に排除して治 痛さ同時に患部に蓄積する病 單なる「痛み止め」で異つて鍼 アトファン…は 療を進めるのが特徴で再發を

外務社員招聘 、帝軍者履歷實验和面會日通切 、市內各地駐在司 、市內各地駐在司 、市內各地駐在司 、市內各地駐在司

第一生命保險相互會社 京城府長谷川町一二二

山口部隊長の指揮する工具隊は去る十九日から地下にトンネルを期 しない敵に對して和知常隊の語下にある小野〇〇部隊が突駆した、 んでゐる敵の要地を爆破占領する現場を目撃の一百米ほどのところにある「白堊の家」と我軍が呼 始めた、それから五日、二年の地下道が三十五米の地點まで達し た、地下を細つて前進するのは、日常戦争の観察のみではな

た、三十秒、どかん、どかんと爆發したと原るやでは三十五米だ、爆弾へ 點火――やがて 十秒たつ洗売隊――「白笠の家」へ同つて駆ける、駆ける、「白笠の家」ま

ぬ、みをとして朝ら組んであるなどといく気になってはいけな鏡けてゐる我が軍の苦労を知らなければならめのを報じてゐるが、戦勝までには苦戦に苦戦に苦戦に苦戦に

# に隣るジャズ 上海の明暗兩樣相を衝く

く、日本人居住の虹日側はさすが「難り至ってみる、過去成日の間、「後等は厳事はどこでしてみるのだ」のだ質良感だといひ、関良歌といさうならと、怒もに上海は語彙づ「那の離り子、支那人、外人たもは「が「鬱の間から解路に「溢れてみる」來るか深ないかなどがその脳心な 火管腫下にあり、まるで避難のや にまだ職時状態を取けて、 う大丈夫」だとほぼ安心ができる 那の離り子、支那人、外人たちは「が「鬱の間から賦器」「溢れてゐる」來るか來ないかなどがその脳心なれてゐる。ジャズの背に來つて支」だけしか出謝しない野雄「寶雯馨」」るか食へないか、同期がお丘くと「

といった概をしてゐる、民衆は職し、それは支那人金融から見れば

い、彼塔が、その日その日を食べ 質けるかなどは大した問題ではな 要人や削線の支那軍どもが開つか

**帯化石を始めとして、国民総府の「自轉してゐる支那四民の中で、知「摩衞せぬやうにしなければならぬ野には大した願心を持つてゐない」種く儘かな作祀だ、四郎七千萬と」に邱水林料で下水霧を造り尚水が 新は啜か、媒か、汚泥、汗水、屎** 

開付をはじめ各自の風敷内を遊播の駅の五幅で、各家庭では野井種の 借助主に於てこれをなし 家主ま

は危険となった、更に法令上各自 カリ新路の属中で用便も違うる事

各住宅には家主に於て必ず規定通りとになった。 定がテヤンと出来、今まで宇島の

散牧する事になる

行つてみたところ、荷主組合では

本府の節約運動徹底化

戦時遭動下に於ける宇島二十三百

封筒は二度以上使へ工作機の対象を

組合に相談を持ちかけたが「組み

の統制しこうちゃないか」と表し

の朝鮮に家庭の個みは燃料である。て供給してゐる京城監禁内の新院には安く寶つてむしる簡単寶母の

(一) 南郊城外雨崎れて

入和の制配地に鳴るぞ

モテキンカタ、モー巫すなは して、ある男士のお見はほん

河北の地は蒙古に近いせいか ってゐる、だがこの駱駝ばか よく駱駝隊がノソリーへと連 ちスキ鍵に見える

同胞腫る血は弱る。

(三) 配く駆逐に傷受けて

慶馬を用ふ星の下

2く日本刀振りかざし

重みて撃むたり散電下

陸間の胸部繁見せて

院部が付ブリタン、採用者へ降飯抵用スを記者へ來九月末日益ニ版西鮮農事收納臨時監督員約診拾名

傭人廣告

四)商武の繁銀に沸く心

、ざや守れ東西の空

いざや把れよ腹部の側

おとい、大きな水筒がラノ

けふの天気

る日臨かとへうさんな難で叫 りはどうにもグロテスクで食

ウフン・ハッハハ……いしる にて、嬰のあるごと下切やド をられます。微に結上は元氣 母も結上も毎日元気に難いて は彼が繋いでゐたのだ 東た宇宙を磨んでゐた (母習

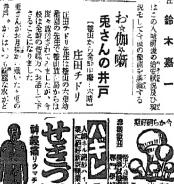
と書きよるわい、おずく

ともなればお腹も一人になき

戦局講演と軍歌

血,产为

記画家田・田〇二十五〇























九月廿六日 廿七日

准置世 日

世日

止 齓

多溫經月 鱼 出 痔 尿 血 傷外股一 等減友血

T10

店商吉友澤藤 社會武株

**)**町本區積本日京東 町修道區東區大

多目容易里地物質が変われる。

, 略血の治療法と無代送量、醫療等止が用後三先生通









大水合名會社東京市神田區銀冶市三

琥珀容器

十段包(音音を)に

















送養婦批割!



・して城に三百年。更に整番が、異批明を後程の、異批明を後程 そ老妻者、虚っ者を帰る大木五駿風の療効と 近代醫製の研説を鑑え

强健に この愛用!

中国 斯斯太月 墨基古

〇西 鮮 航 路 一角: 船屬語》

鹽安丸

の一子は黒に取られる運命だか の題を黒先なり自然に自百二十三 を何とか結ない、白は百二十三の

京畿丸

等了神戸影港 一個門一區

た准いたします 充在別を扱つこ共に る香剤を扱つこ共に を写すラシの知著 な薬効により元氣を な薬効により元氣を

SECTION OF 900 000

界的著名外用消 ンテアロデス 炎 劑

150瓦 65 g 300瓦 1月15 g

<sup>東宮・宮町</sup> 近會九米共三

9 SANRYD # 909 900 900 908 300

很 

たった、白和銀大の實現であった。 で、その手間は自が合理能におく で、その手間は自が合理能におく たっ、回域態像と云った様の手間 は

〇横遊急行

〇西龍務軸行

虚で用日黒が百二千八のすぐ右

○思豆行 湯水二日 元山六日 江 原 丸 福水—福澄水港

の所へ行けまい。行つたら伝送。

丸 仁川三百 大連冒

日留雨 日愛山

第一歩である。即も馬旦二十二の

海子 第4、大平、维芒、高潮子 第4、大平、维芒、高潮子 第4、大平、维芒、高潮子 第5 计算量等 九月廿二三大連、背區

日 群山岩 太神台

下数のかゝる濕布にかへて 各種炎症に 感冒より肺炎に至る 000 000 000

65 禽